

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名	嚥下造影検査後の経口摂取達成に関する因子について
研究責任者	医療法人一陽会 原田病院 診療技術部 リハビリテーション科 言語聴覚士 難波江 経史
他の研究機関および各施設の研究責任者	該当なし
研究の目的	嚥下機能低下を来した症例に関して、退院時に経口摂取が獲得できるか否かは退院先や今後の栄養法を検討する上でも非常に重要なポイントである。VF(嚥下造影検査)を実施した症例を対象に、「経口摂取達成」「経口摂取非達成」の2群間での比較検討を行い、退院時に経口摂取達成となるための因子の検討を実施したい。
調査データ 該当期間	2015年4月～2020年3月
対象となる患者さん	嚥下造影検査実施者 200名
研究の方法 (使用する試料等)	<ul style="list-style-type: none">・カルテより後方視的検討を実施し、VF後経口摂取が可能であった群(達成群)と達成できなかった群(非達成群)に群別。・経口摂取達成・非達成の2群間にて年齢、性別、ADL、基礎疾患の有無、BMI、絶食期間、VFまでの期間、入院中の肺炎歴、VF検査結果による障害期、AsRスコア、STリハの有無、STリハ単位数、入院時のAlb、CRP、WBC、入院前の食形態、入院前の生活場所について、それぞれの尺度に応じて単変量解析を行う。・上記にて有意差が確認された項目及び先行研究にて関連が報告されている因子に加え、今回新たに検討を行いたいスコア or VF検査結果 AsRを独立変数とする。経口摂取達成 or 非達成を従属変数としたロジスティック回帰分析を実施し、VF後の経口達成に関する因子を特定する。・抽出された因子が量的データである場合は、ROC曲線より予測因子のカットオフ値算出を行う。
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はない
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
お問い合わせ先	〒731-5131 広島市佐伯区海老山町7番10号 医療法人一陽会 原田病院 電話：082-923-5161(代表) 担当者：リハビリテーション科 難波江 経史